

被災その先へ

東日本大震災 被災から13年!

町は、地域は、つながりはどのような変貌をしたのか。

災害はいつ来てもおかしくない。それに備えることはもちろん、被災後の支援、そしてその後・・・、その地域で暮らしていくための地域づくり。

東日本大震災から13年、岩手県野田村の事例から学んでみませんか？
地域はどうあるべきか？人は物は？普段からのつながりは？田尻町の未来を想像してみませんか。

令和6年3月24日(日)

定員:60人

(先着順、定員になり次第受付は終了します。)

午後1時30分～午後3時30分

場所:たじりふれ愛センター 4階 研修室



令和6年能登半島地震 現地レポート

1月1日に発生した能登半島地震についても
現地の状況も踏まえ、お話いただきます。

講師

大阪大学大学院人間科学研究科長教授
あつみ とむひで
人間科学部長 渥美 公秀氏

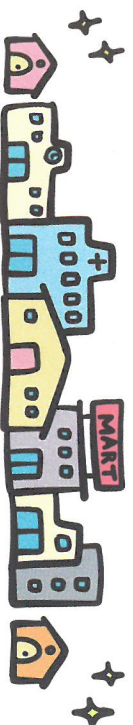
【主な活動歴】

【国内】
阪神・淡路大震災
新潟県中越地震
東日本大震災
熊本地震
西日本豪雨災害
令和6年能登半島地震

【海外】
台湾集集大地震
イラン南東部地震
四川大地震

【略歴】

1961年大阪府生まれ。大阪大学人間科学部卒業。フルブライト奨学金によりミネソタ大学大学院に留学、博士号(Ph.D.心理学)取得。大阪大学人間科学研究科助教授などを経て、2010年大阪大学大学院人間科学研究科長教授に就任。
自宅のあった西宮市で阪神・淡路大震災に遭い、避難所などでボランティア活動に参加。これをきっかけに災害ボランティア活動の研究と実践が続いている。
現在、特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク理事長のほか、日本クルーズ・ダイナミックス学会、日本災害復興学会、国際ボランティア学会の理事や、日本自然災害学会の評議員などを務め、多くの社会活動を行っている。



申込先

田尻町社会福祉協議会へ
電話にてお申し込みください。

TEL.072-466-5015

申込期間

令和6年3月1日(金)
～3月19日(火)